

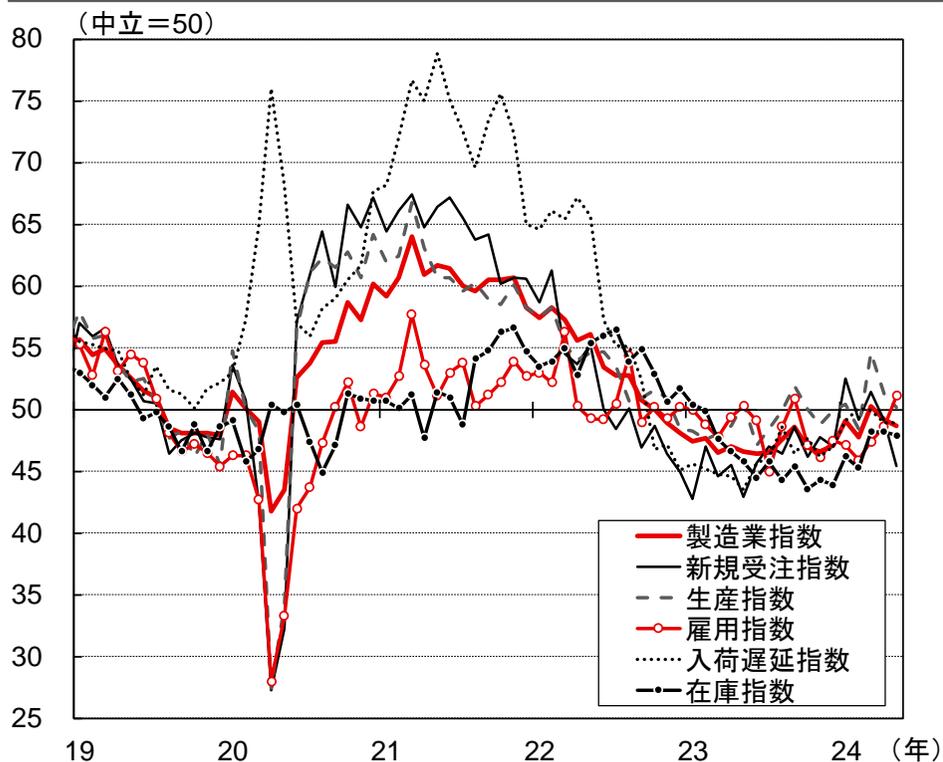
米国経済・金融概況 (2024年6月)

2024年6月18日
経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、5月に48.7(前月比▲0.5ポイント)と2カ月連続で低下。指数の構成項目をみると、雇用指数(51.1、同+2.5ポイント)が上昇した一方、新規受注指数(45.4、同▲3.7ポイント)、生産指数(50.2、同▲1.1ポイント)、在庫指数(47.9、同▲0.3ポイント)は低下。産業別では全18産業のうち7産業が拡大、7産業が縮小、4産業が横這いを報告(4月は9産業が拡大、7産業が縮小、2産業が横這い)。
- 5月のISMサービス業指数(総合指数)は53.8(前月比+4.4ポイント)と4カ月ぶりに上昇。企業活動指数(61.2、同+10.3ポイント)が大幅に上昇したほか、入荷遅延指数(52.7、同+4.2ポイント)、新規受注指数(54.1、同+1.9ポイント)、雇用指数(47.1、同+1.2ポイント)も上昇。産業別では全18産業のうち13産業が拡大、5産業が縮小を報告(4月は12産業が拡大、6産業が縮小)。

ISM製造業指数の推移



(資料)ISM(全米供給管理協会)統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

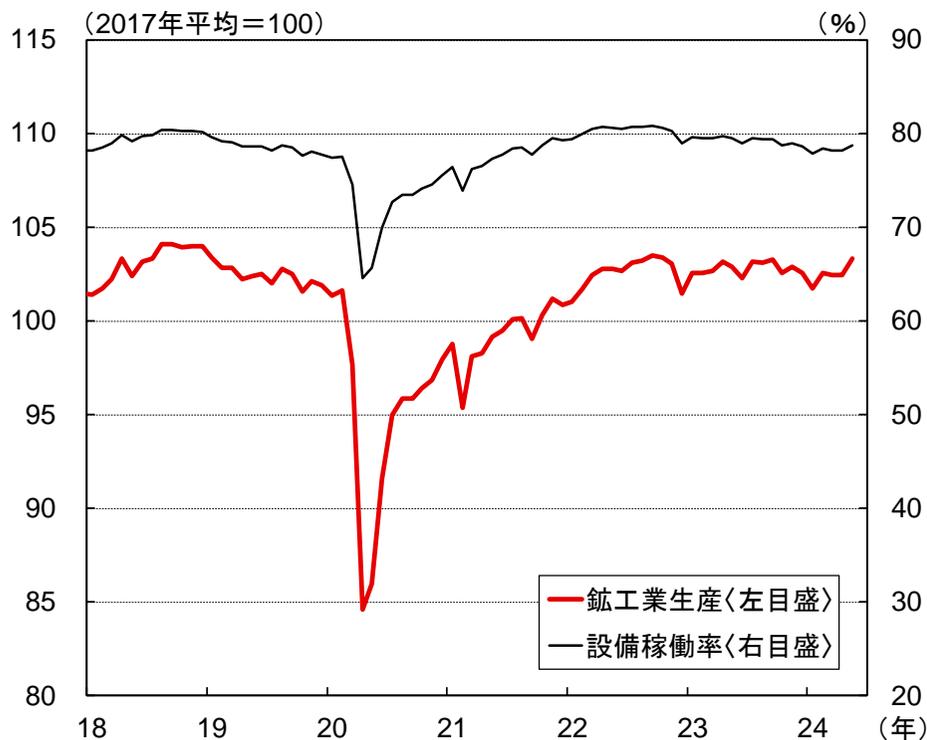


(資料)ISM(全米供給管理協会)統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

- 5月の鉱工業生産は前月比+0.9%と2ヵ月連続で増加。産業別にみると、全体の約7割を占める「製造業」が同+0.9%と3ヵ月ぶりに増加、うち「自動車・同部品」は同+0.6%と2ヵ月ぶりに増加。また、「公益事業(電気・ガス)」は同+1.6%、「鉱業」は同+0.3%とそれぞれ増加。5月の設備稼働率は78.7%と、前月から0.5%ポイント上昇。
- 4月の耐久財受注は前月比+0.6%と3ヵ月連続で増加。内訳をみると、「輸送用機器」(同+1.1%)、「電機・家電」(同+0.9%)、「コンピュータ・電子部品」(同+0.6%)、「機械」(同+0.5%)、「金属製品」(同+0.2%)など幅広い業種が増加。設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は同+0.2%と2ヵ月ぶりに増加。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

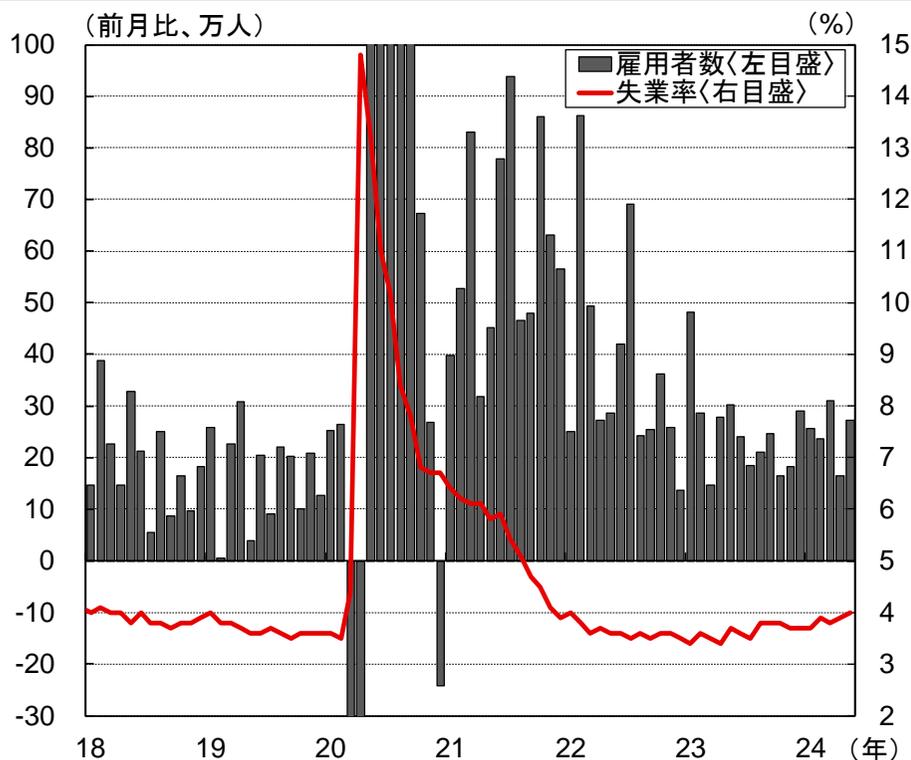


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

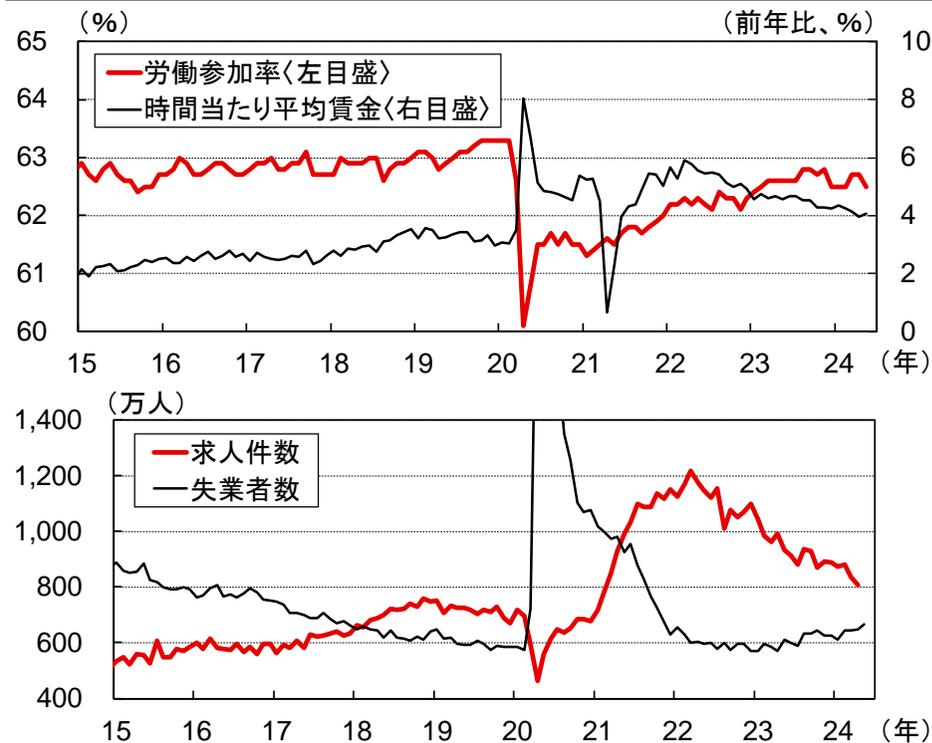
- 5月の非農業部門雇用者数は前月比+27.2万人と前月(同+16.5万人、改定値)から加速し、市場予想(Bloomberg集計:同+18.0万人)を大きく上回った。業種別にみると、「医療・社会扶助」(同+8.4万人)、「公務」(同+4.3万人)、「レジャー・接客」(同+4.2万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+3.2万人)、「建設業」(同+2.1万人)、「小売業」(同+1.3万人)などが幅広く増加。
- 5月の失業率は4.0%(前月差+0.1%ポイント)と、2022年1月以来となる4%台に上昇。労働参加率は62.5%(同▲0.2%ポイント)と低下、時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+4.1%(4月:同+4.0%)と2ヵ月ぶりに伸びが加速。
- 4月の求人件数は805.9万件(前月比▲29.6万件)と2ヵ月連続で減少。求人件数は失業者数の約1.24倍とパンデミック前の水準(約1.2倍)に概ね戻っており、労働需給の逼迫感は緩和しつつある。

非農業部門雇用者数・失業率の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

労働参加率・平均賃金・求人件数・失業者数の推移

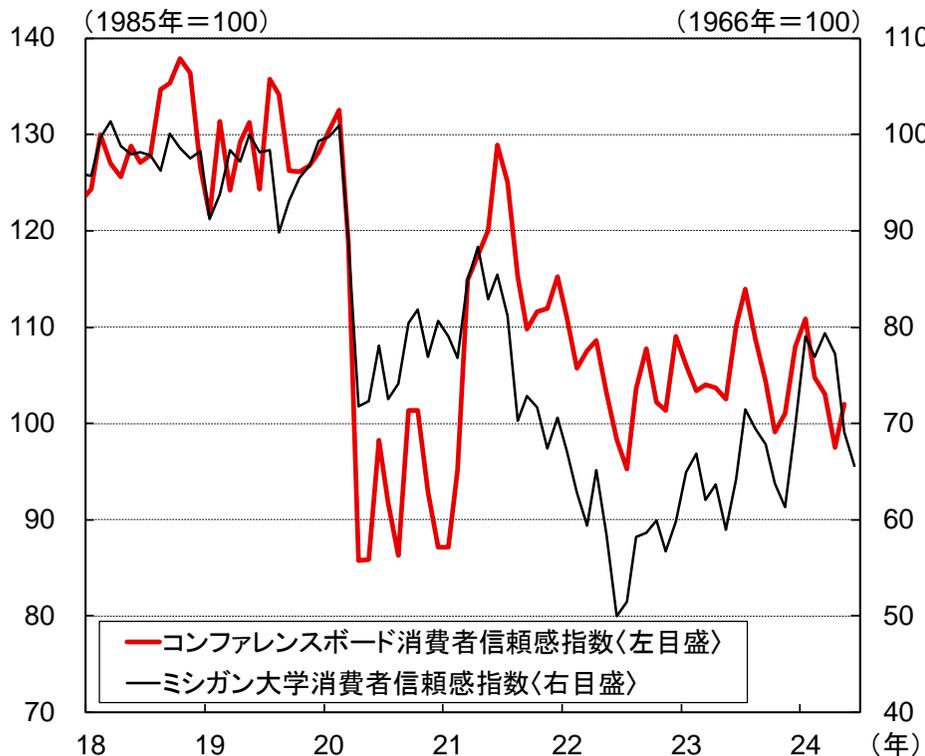


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

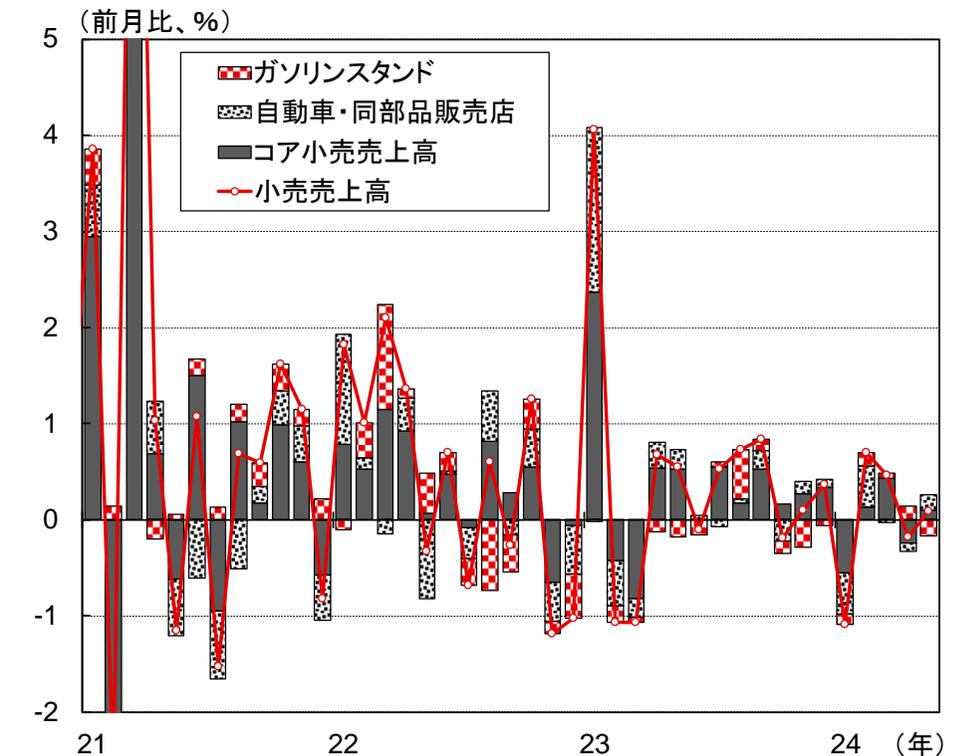
- 5月のコンファレンスボード消費者信頼感指数は102.0(前月比+4.5ポイント)と4ヵ月ぶりに上昇。一方、6月のミシガン大学消費者信頼感指数は65.6(前月比▲3.5ポイント)と3ヵ月連続で低下。ミシガン大学調査は、インフレ高止まりへの懸念や所得環境の悪化がマインド低下に影響したと指摘。
- 5月の小売売上高は前月比+0.1%と2ヵ月ぶりに小幅増加(4月:同▲0.2%、改定値)。業種別にみると、「衣料品販売店」(同+0.9%)、「自動車・部品販売店」(同+0.8%)、「無店舗小売店」(同+0.8%)などが増加した一方、「ガソリンスタンド」(同▲2.2%)、「家具販売店」(同▲1.1%)、「建材・園芸用品店」(同▲0.8%)、「レストラン」(同▲0.4%)などが減少。「自動車・部品販売店」と「ガソリンスタンド」を除くコア小売売上高も同+0.1%(4月:同▲0.3%、改定値)と2ヵ月ぶりに小幅増加。

消費者信頼感指数の推移



(資料)コンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

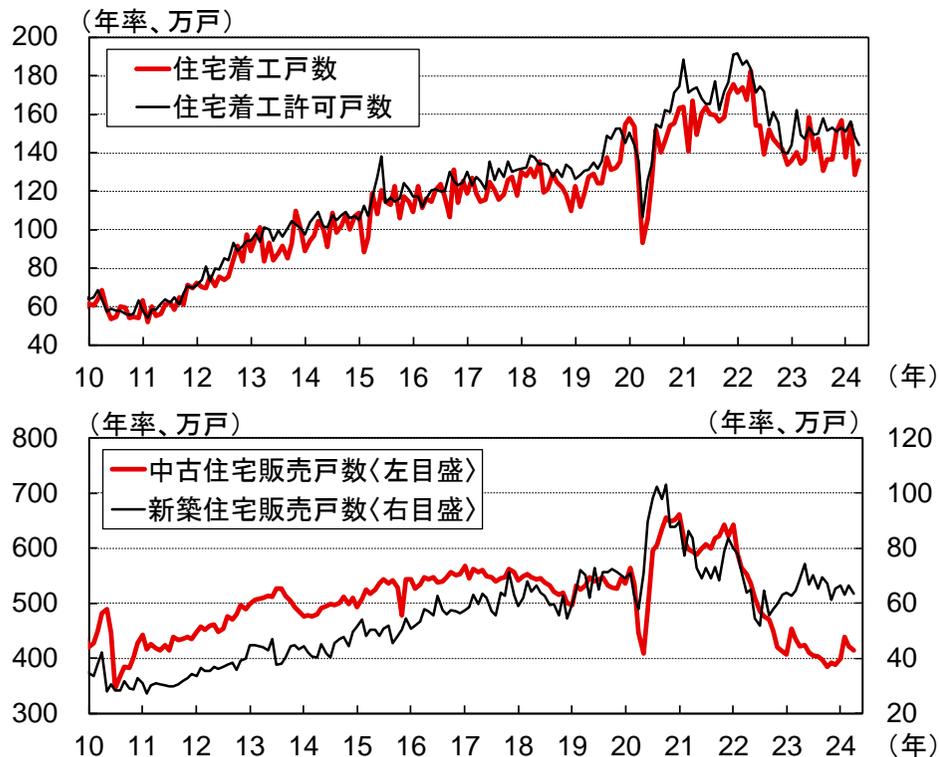


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅

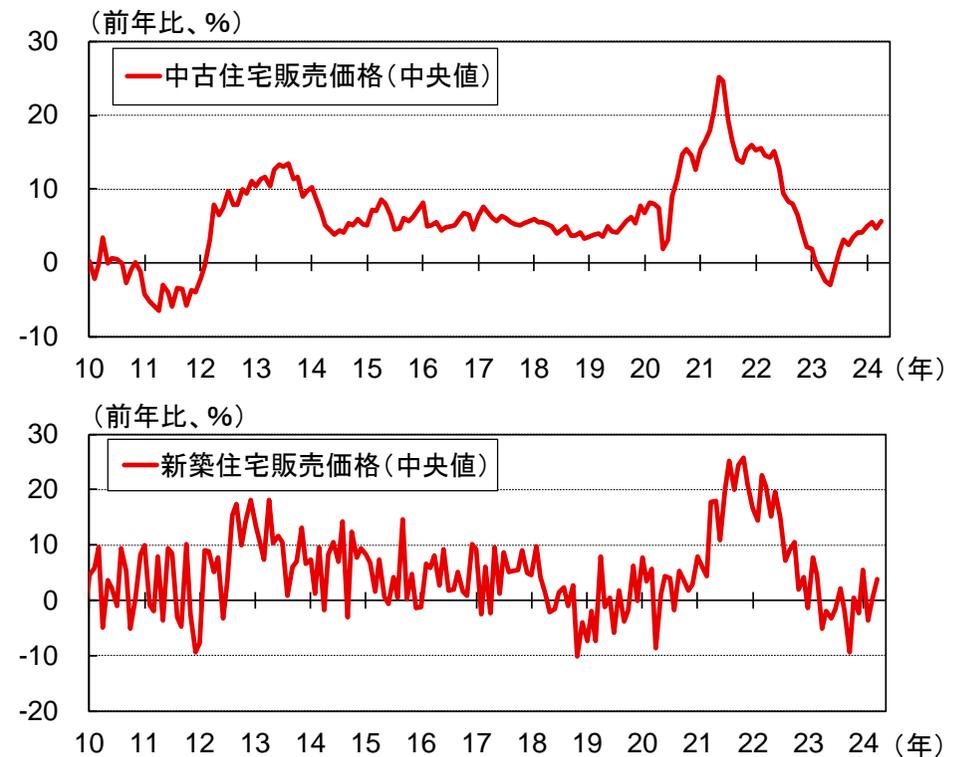
- 4月の住宅着工戸数は前月比+5.7%の年率136.0万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに増加。内訳をみると、一戸建住宅は同▲0.4%と2ヵ月連続で減少した一方、変動の大きい集合住宅(5世帯以上)が同+31.4%と大幅に増加。先行指標である住宅着工許可戸数は同▲3.0%の年率144.0万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で減少。
- 4月の住宅販売戸数は、中古住宅が前月比▲1.9%の年率414万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で減少、新築住宅は同▲4.7%の年率63.4万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに減少。
- 4月の住宅販売価格は、中古住宅が407,600ドル(中央値)、前年比+5.7%(3月:同+4.7%)と10ヵ月連続で上昇。新築住宅は433,500ドル(中央値)、同+3.9%(3月:同+0.1%)と2ヵ月連続で上昇。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

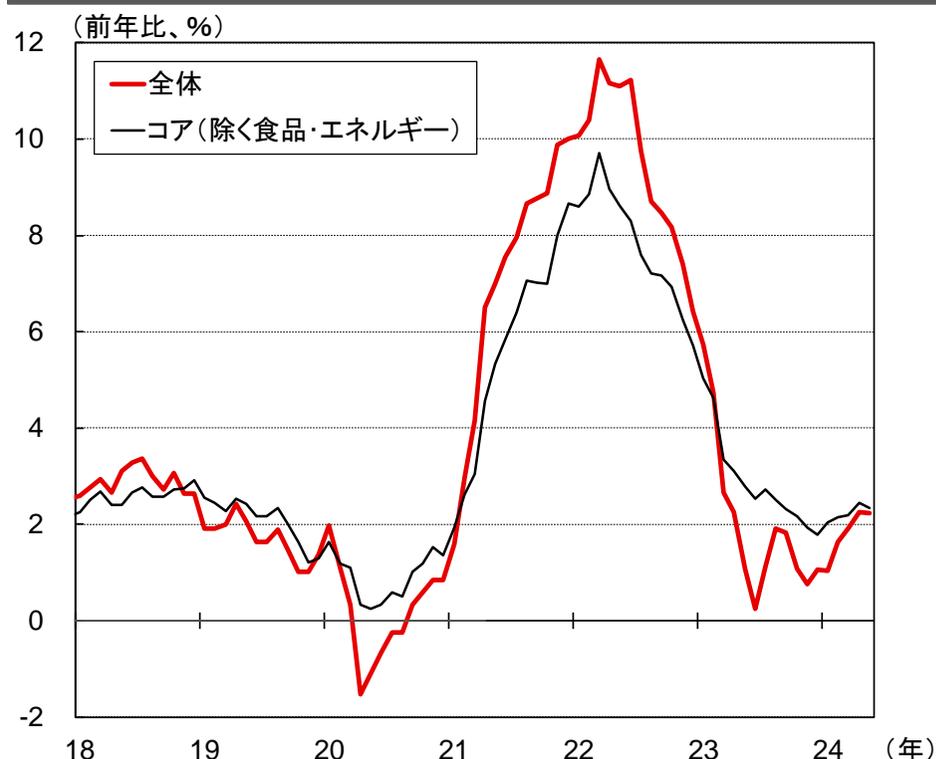
- 5月の消費者物価指数は前年比+3.3%(4月:同+3.4%)、食品とエネルギーを除いたコア指数は同+3.4%(4月:同+3.6%)とそれぞれ伸びが鈍化。コア指数のうち、「中古車」(4月:同▲6.9%→5月:同▲9.3%)、「新車」(同▲0.4%→同▲0.8%)、「航空運賃」(同▲5.8%→同▲5.9%)の下落幅が拡大したほか、「住居費」(同+5.5%→同+5.4%)、「自動車保険料」(同+22.6%→同+20.3%)の伸びが鈍化。
- 5月の生産者物価指数は前年比+2.2%(4月:同+2.3%)と伸びが鈍化。内訳をみると、「財」は同+1.6%(4月:同+1.3%)と4ヵ月連続で伸びが加速した一方、「サービス」は同+2.6%(4月:同+2.9%)と5ヵ月ぶりに伸びが鈍化。食品とエネルギーを除いたコア指数も同+2.3%(4月:同+2.5%)と伸びが鈍化。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

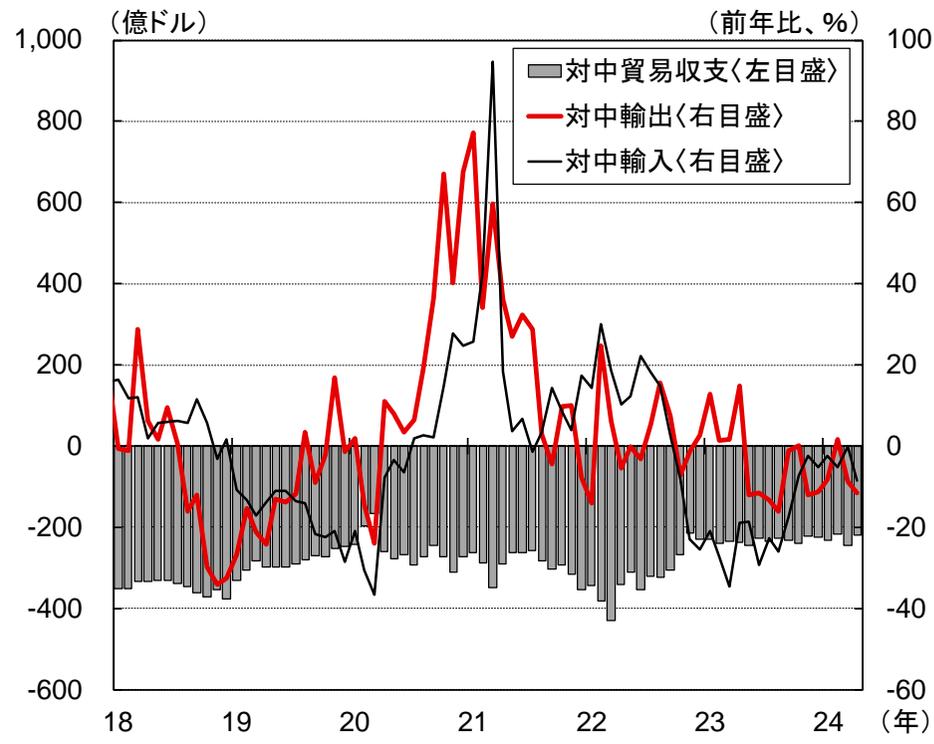
- 4月の貿易収支(財・サービス)は746億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+8.7%(同+60億ドル)と拡大。輸出は同+0.8%(同+21億ドル)、輸入は同+2.4%(同+80億ドル)とそれぞれ2カ月ぶりに増加。前年比で見ると、輸出は+5.1%、輸入は+4.5%。
- 財の貿易収支を国・地域別で見ると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国は4月に221億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比▲10.1%(▲25億ドル)と縮小。対中輸出(財)は同+1.2%(同+1億ドル)と2カ月ぶりに増加、対中輸入(財)は同▲6.4%(同▲23億ドル)と2カ月ぶりに減少。前年比で見ると、対中輸出(財)は▲11.7%と2カ月連続で減少、対中輸入(財)は▲8.5%と19カ月連続で減少。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、足元では4.2%台に低下。6月12日のFOMCでは早期利下げに慎重な姿勢が示されたものの、同日に公表された5月の消費者物価指数の伸びは予想を下回り、その後も景気減速を示唆する経済指標が続いたことから、利下げ期待が高まった。
- ダウ平均株価は、5月半ばにインフレ鈍化への期待から過去最高値を記録。その後、FOMC参加者の早期利下げに慎重な発言などを受けて下落したものの、6月以降は持ち直している。

10年物国債利回りの推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : ウォルショー 瞳 e-mail: hwalshaw@us.mufg.jp